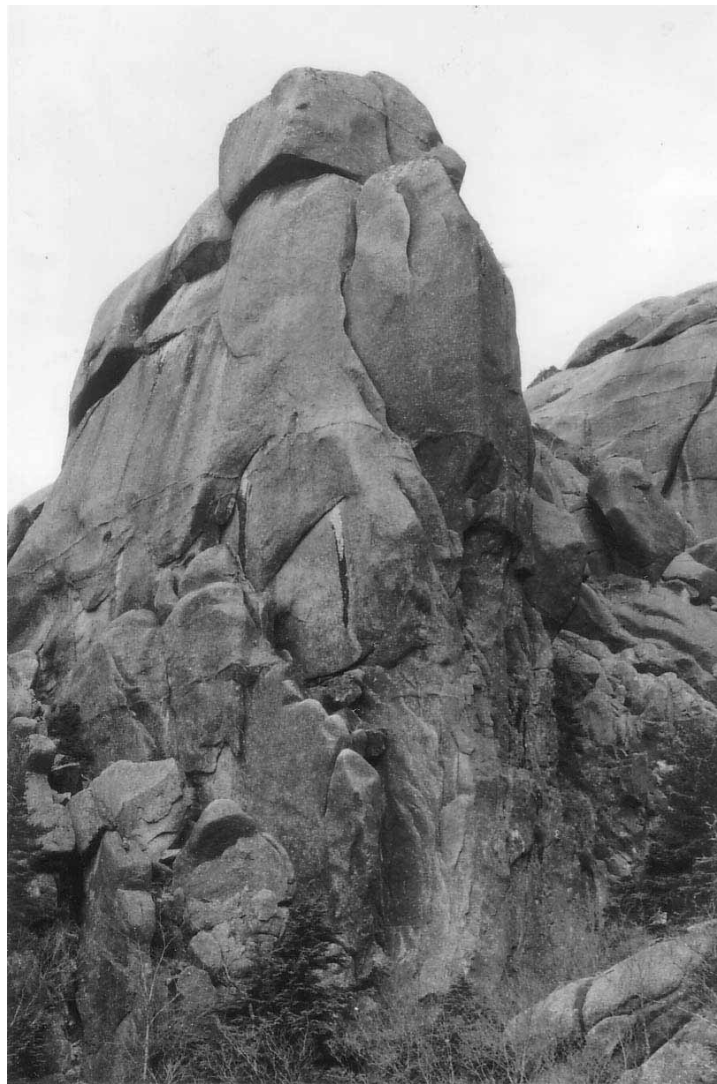


82.5.4 瑞牆山 天使の微笑みルート開拓

ゴールデンウィークに塩田さんに付いて行った、初めてのハードフリー（昔はそうよんでいました。）。ナイフピークにあるブライダルクラックで初めてジャミングをした。テーピングの知識も無かったので、手の甲を血まみれにした。それでも、全然登れなくて悔しい思いをした。メンバーは他にチームイカロスの堀越隆正、五十嵐さんなどがいた。

最終日にはルートを開拓しようという事で、それぞれ岩場に分散して登ったのがこのルートで、私にとってフリーの事始めのルートである。

余談だが、この頃は小川山も含めクライマーやキャンパーはほとんどいなかった。小川山でキャンプしているのが2・3組という状況で、大きな焚き火をして翌日顔は真っ黒で、服は火の粉で穴が開いていたのが懐かしい。

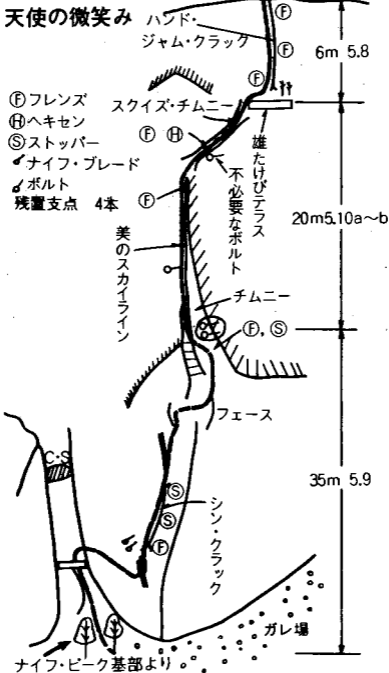


次ページは「岩と雪」90号に投稿した記録

CLIMBER'S NEWS

瑞牆山チムニー・ロック (仮称)

天使の微笑み



加となつて
いる。

瑞牆山

大ヤスリ

岩周辺

J E C C

の塩田伸弘

と田中隆が

5月4日ナ

イフ・ピー

ク基部から

十一面方向

に見え、基部から踏み跡を五分、ガレ場をひとつ横切った所の黒い岩塔を仮称チムニー・ロックとし、クラックを登った。三ピッチ六一は、5・10a/bで、各種のクラックがあり、ポイントは二ピッチ目、クラックが終わる所からスクイズ・チムニーに入る一ピッチである。ルート名は、天使の微笑みとのこと。

《資料》

林徹、織部一弥、吉川弘、
交告一起、貝賀司、新屋正雄、篠原富
和、塩田伸弘